令和６年度実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■調査概要

助成団体	公益社団法人横浜カントリー・アンド・アスレティック・クラブ
事業細目名①	総合型地域スポーツクラブ活動基盤強化
助成金額①	1,209,000 円
事業細目名②	総合型地域スポーツクラブマネジャー設置
助成金額②	864,000 円

■調査内容

令和６年度総合型地域スポーツクラブ活動助成で、活動基盤強化事業・クラブマネジャー設置事業を行っている公益社団法人横浜カントリー・アンド・アスレティック・クラブの調査を実施しました。

クラブは 1868 年に設立され、当時は横浜クリケットクラブとして外国人居留地の人たちを中心に活動していました。その後 1912 年に現在の「横浜カントリー・アンド・アスレティック・クラブ」となり、150 年以上と長い歴史のあるクラブです。

現在の会員数は 944 名で 40～70 歳以上が半数を占め、また家族世帯での会員が多く、３世代にわたり入会されている会員も在籍しています。活動種目は、テニス、バレーボール、ラグビー、サッカー、体操、フラダンス、サーキットトレーニングなどを含む、全 19 種目のスポーツ教室を展開しています。施設もサッカー場、テニスコート、プール、ボウリング場、トレーニングルーム、レストランなどがあり、実施種目に関する設備や会員同士が交流できる環境が充実しています。

今回調査を実施した、サーキットトレーニングは全世代を対象とした教室です。トレーニングメニューについては、コーチが各参加者の運動データを元に、ランニング、バイク、ウエイトトレーニングなど各個人のペース配分を調整し、活動していました。

くじ助成を受けたことで、老朽化していたスポーツ用具を新たに購入でき、安定した教室の開催が行うことができています。また、クラブマネジャー設置事業で助成を受けたことにより、従来賃金としてかかっていた費用を施設の整備・アップグレードへ充てることが可能となりました。

今後のクラブ活動としては、地域との連携、他のスポーツ団体との協力、新規会員の獲得などを課題としており、SNS やチラシなどの広報活動を今以上に工夫することを目標としています。加えて、地域との連携では、実業団クラブチームへ一部施設の貸出、体験会やイベント等の開催、そのほか日本人と外国人が交流できるような取り組みも積極的に行っています。

引き続き、地域や実業団クラブチームとの連携を図り、様々なスポーツを体験できる総合型スポーツクラブとして発展されることを期待しています。

（令和６年６月 27 日往査）

（写真）サーキットトレーニング教室の様子



